

『学校評価』質問項目

対象(生徒・保護者・教職員)によって文言は適正化していますが、質問意図は三者同様です。

* 自己評価ではありません。『学校としてどうか』という視点で、客観的かつ肯定的な評価をしてください。

評価の基準 * 考えが一番近いと思う番号(4~1)を○で囲んでください。							
4 : そう思う		3 : 少しそう思う		2 : あまりそう思わない		1 : そう思わない	
1	教育目標にある「豊かな心」「創造力」「心と体の健康」を意識して教育活動を行っている。	4	3	2	1		
2	生徒が千草台中の教育活動(学校生活)に満足できるよう、教育課程がなされている。	4	3	2	1		
3	生徒が将来社会に出たときに、役立つ力が身につくよう教育活動がなされている。	4	3	2	1		
4	生徒がわかるために、工夫した授業が展開されている。	4	3	2	1		
5	生徒が家庭学習(授業の予習や復習)を計画的に行うよう適切な指導をしている。	4	3	2	1		
6	授業は、生徒自身で課題を解決したり、意見を発表したりする場面が充実している。	4	3	2	1		
7	学校行事(体育祭・校外学習・合唱など)や生徒会活動は、生徒自身が主体的に考え判断する活動や、特色ある活動になっている。	4	3	2	1		
8	働き方改革の取り組みは、生徒に対して効果的な教育活動を行う一助となっている。(文科省は改革の目的を、「教職員個々の豊かさの向上(ゆとり)が、授業を磨き、人間性や創造性を高めることで、子供たちに還元されること」と掲げています) 生徒質問: その結果として教育効果を感じているのかを質問しています。	4	3	2	1		
9	進路学習(職業調べや職場体験、就職・進学指導など)は、生徒が進路を主体的に選択・決定できる力を育てる活動になっている。	4	3	2	1		
10	学校や社会で生活するために必要な、基本的な生活習慣およびルールやマナーを身につけさせるための指導をしている。	4	3	2	1		
11	生徒が、自分を大切に、他者を思いやることを心がけて生活するように指導している。	4	3	2	1		
12	生徒や保護者が、悩んだり困ったりしたとき、気楽に相談できる環境である。	4	3	2	1		
13	施設や設備が、安全で使いやすくなるように整備されている。	4	3	2	1		
14	学校・学年だより・すぐー等の情報発信は、学校への理解向上など有益な情報媒体になっている。	4	3	2	1		
15	地域や機関(公民館や自治会・育成委員会など)と連携し、協働体制(よりよい地域と学校づくりを目指す取り組み)が構築されている。	4	3	2	1		